



秋葉台小サマースクール 2026 出展のご報告

前号で、次号はこの地域と離れて縄文時代の全体的な自然環境について採り上げる旨を予告していましたが、その前に、さる 7 月 23 日に開催した秋葉台小サマースクールの際の様子をお知らせします。



八王子市立秋葉台小学校では、10 年以上前から学校運営協議会や地域・保護者が連携してサマースクールを開催してきました。今年も 3 日間で 40 団体近くの出展があり、私たちも 3 年連続で参加しました。

縄文時代の二大発明は、土器と弓矢と言われていることも念頭に、当時を知るための『謎解き』や、ワークショップでも、紙コップに描いた獲物を射止める弓的当て遊びもしました。大栗川沿いでも、多くの石鏃ぞく（矢じり）が発掘されています。

写真にある土器をお借りした東京都埋蔵文化財センター、缶バッジを提供して頂いた由木かたくりの会、スタッフとしてお手伝いして頂いた女性写真家など、いろいろな人に支えられて開催できました。そのような経緯を生徒たちが気づき、1 万年以上の長い間、争いや身分・貧富の差があまりなく平和だったと言われる縄文時代に思いを馳せ、人々が協力し合える未来の社会を築いてくれることを祈願しています。

（大栗川縄文クラブ代表 堤 直樹）